

# 成田市議会だより No.84

平成28年 6月定例会

2016.8.1発行



## 表紙写真募集

成田市議会だより(11月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが思う  
成田らしい写真」

締切は10月11日(火)  
詳細は市議会ホームページを  
ご覧ください

### カメラに納めたい

紫陽花の名所である宗吾霊堂には約7千本の紫陽花が植えられ、中でも、柏葉紫陽花が人気です。6月の紫陽花まつりにはカメラを手に大勢の見学者が訪れていました。

撮影者：下谷 一成 様

### 主な内容

常任委員会	3	政務活動費収支報告	15
特別委員会	5	議会報告会のご案内	16
議案と審議結果一覧	7	全国市議会議長会表彰	16
一般質問	8	コーヒータイトム	16

6月  
定例会の  
あらまし

# 23議案を可決・同意・承認 1議案を否決

## 平成28年度一般会計補正予算や市有財産 の無償貸付けなどを可決 調整池築造工事の契約を否決

平成28年6月定例会は、6月3日に招集され6月22日まで20日間の会期で開かれました。定例会の初日には、19議案が上程されました。

一般質問は、7日から4日間、19人の議員により行われ、10日には議案2件を同意し、また、議案1件が追加上程されました。13日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案17件と発議案2件を原案どおり可決・承認し、議案1件を否決するとともに、請願2件を採択、1件を不採択としました。

また、付属病院に係る追加議案2件を可決して閉会しました。

### 6月定例会の日程

月 日	内 容
6月 3日(金)	本会議 (開会、会期の決定、全議案一括上程)
7日(火)	本会議 (一般質問)
8日(水)	本会議 (一般質問)
9日(木)	本会議 (一般質問)
10日(金)	本会議 (一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
13日(月)	医学部設置に関する特別委員会、教育民生常任委員会
14日(火)	空港対策特別委員会
15日(水)	経済環境常任委員会、建設水道常任委員会
16日(木)	総務常任委員会
22日(水)	本会議 (会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と  
審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務 常任委員会

議案6件をいずれも可決・承認しました。



▲高規格救急自動車

### ▼市有財産の取得(高規格救急自動車)

**[内 容]** 赤坂消防署公津分署および大栄消防署下総分署に配備している高規格救急自動車<sup>注1</sup>が、それぞれ購入から9年および8年が経過し、老朽化および機能の低下が著しいことから、新たに購入し、救急体制の充実強化を図るもの。

**[主な質疑]** **問** 救急自動車の更新は一般的に何年程度で行われているのか。

**答** 成田市消防計画に基づき、購入後8年または走行距離10万キロメートルを目安として更新の計画を立てている。

注1 平成3年の医師法改正により規格化された、日本の消防で主力の救急車両。室内の寸法や装備品等の基準が定められ、救急救命士が乗務し運用される。

### ▼平成28年度 成田市一般会計補正予算(第2号)

**[内 容]** 鉄道施設等耐震化推進事業や学校跡地利活用事業、強い農業づくり支援対策事業等で歳入歳出それぞれ6億1,519万4,000円の増額補正を行うとともに吾妻保育園改修事業について繰越明許費<sup>注2</sup>の設定を行うもの。

**[主な質疑]** **問** 学校跡地利活用事業における中郷小学校跡地の利活用の内容は。

**答** 地区の活動団体が有機的に活動することを支援するスペースや、地域の資料を展示・閲覧できるスペースを整備することを想定し、基本・実施設計を行う。

注2 その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。

### ▼成田市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

**[内 容]** 市直営で管理している三里塚コミュニティセンターについて、平成29年4月1日から指定管理者制度<sup>注3</sup>を導入することに伴い、所要の改正を行うもの。

**[主な質疑]** **問** 料金設定について、1時間単位の額から1日単位の上限額へと変更されている根拠は。

**答** 指定管理者が創意工夫できるよう、1日当たりの利用料金の上限額のみを条例に規定した。金額は、現行の料金設定をもとに、1日当たりの上限額を割り戻して算出した。

注3 地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる(行政処分であり委託ではない)制度。

## 教育民生 常任委員会

議案8件をいずれも可決・承認し、請願2件を採択しました。  
所管事務について5件の報告を受けました。

### ▼成田市立吾妻中学校西棟大規模改造工事(建築工事)請負契約の締結

**[内 容]** 昭和53年に建築してから38年が経過した吾妻中学校について、教育環境の改善および建物の耐久性の確保を図るため、平成27年度の東棟校舎に引き続き、西棟校舎の大規模改造工事を実施するもの。

**[主な質疑]** **問** 近い将来に生徒数の増加が見込まれるが、今回の工事でのどのように検討されたか。

**答** 今回の工事は、施設の老朽化対策として行うものであり、生徒数の増加への対応については、今後整理していきたい。



## 経済環境 常任委員会

請願1件を不採択としました。  
所管事務について7件の報告を受けました。

### ▼TPP協定を国会で批准しないよう求める意見書の提出を求める 請願

- [主な意見]
- TPP協定の批准は、重要5項目を聖域として関税撤廃交渉から除外する、とする国会決議に違反することは明々白々であり、国内農業と地域経済に重大な打撃となるTPP協定は、到底容認できるものではなく、協定の国会批准をしないよう求める本請願について賛成する。
  - TPP協定については大筋合意に至っているが、流動的な部分が多く、今後の交渉を注視していくべきであり、現段階で国会に対して批准すべきでないと言い切るのは適当ではないので、不採択とすべきである。

## 建設水道 常任委員会

議案2件を可決し、1件を否決しました。  
所管事務について5件の報告を受けました。

### ▼公の施設の利用に関する協議(成田市公共下水道)

[内 容] 酒々井町で社会福祉法人徳栄会が介護老人福祉施設と医療機関を建設する予定であり、公共下水道が未整備であることから、隣接する成田市の公共下水道を利用することについて、酒々井町と協議を行うもの。

- [主な質疑]
- 問 工事費用は誰が負担するのか。
  - 答 事業者である社会福祉法人徳栄会が負担する。

### ▼調整池築造工事(並木町大久保台市道流末排水)請負契約の締結

[内 容] 並木町大久保台地区の市道並木町大久保台1号線他7路線の流末排水となる調整池<sup>注)4</sup>の築造工事について請負契約を締結するもの。

[主な意見] ● 落札業者である共同企業体を構成するうちの1社については、現在、成田市で発注している工事の工期内完成ができず、履行遅滞の状況にあり、市民の利益や市の財政に直接的・間接的に影響を与えている。そのような会社が含まれる共同企業体を契約の相手方とするについて、市民の理解を得ることは難しい。

注)4 集中豪雨などの局地的な出水により、河川の流下能力を超過する可能性のある洪水を河川に入る前に一時的に溜める池。



## 国に意見書を提出

6月定例会では、委員会から提出された議案(発議案)を可決し、国および関係行政機関に意見書を提出しました。提出した意見書は下記のとおりです。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書

# 特別委員会

本会議で委員会に付託された議案と審査内容、および報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 医学部設置 に関する 特別委員会

### ▼市有財産の取得（（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業用地）の変更

**【内 容】** 畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業用地に係る市有財産の取得について、目的を、国際医療福祉大学医学部の校舎、附属施設およびこれに関連する必要な施設の用地に変更するもの。

**【主な質疑】** **問** 医学部の校舎、附属施設、関連する必要な施設とは具体的にどのようなものが想定されるのか。

**答** 基本的には医学部の校舎は公津の杜であるが、4年生以降、附属病院で実習を行うので、敷地内の建物を校舎として使うことも想定される。附属施設は附属病院を指し、関連施設については、夜間救急対応のための医師や看護師の宿舍、研究施設、特区構想にあったトレーニングセンターも含まれると考える。

### ▼市有財産の無償貸付け

**【内 容】** 国際医療福祉大学に医学部校舎、附属施設およびこれに関連する必要な施設の用地として、平成28年7月1日から平成59年3月31日まで市有地を無償で貸し付けるもの。

**【主な質疑】** **問** 医療関係の施設をつくる場合も、成田市の承認が必要となるのか。

**答** 当初の計画通り病院が建設された後に、治療や教育のために新たな施設を建設しようとする場合でも、成田市の承認が必要となる。

### ●国家戦略特区の進捗状況

3月24日の、合同区域会議において、成田市は地域限定保育士試験と医学部の新設の2事業について高い評価を得たとのことでした。

3月31日には、国際医療福祉大学が国へ医学部の設置認可申請を行っており、認可は8月ごろと見込まれるとのことでした。

4月6日と6月6日には、国家戦略特区連絡会議が開催され、規制緩和の活用見込み等について情報共有がなされたとのことでした。

また、公津の杜駅前の医学部校舎の建設工事については、スケジュールどおりに進んでいて、土木、設備をはじめとした18の市内業者の協力を得ており、今後も引き続き市内業者の活用を要望していくとのことでした。

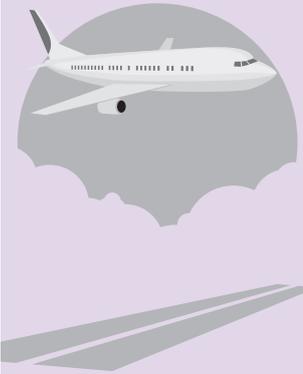
国際医療福祉大学医学部の開設に関する基本協定書については、原案に運営や用地取得の進捗状況を共有するために成田市と大学が相互に報告するなどの修正を加え、4月1日付で締結をしたとのことでした。

医学部附属病院については、市道川栗畑ヶ田線の東側に病院等を、西側に、駐車場や職員宿舎を建設する予定であるとのことでした。附属病院の建設主体は、一般社団法人成田国際医療都市機構という名称となり、目的は、現時点では、不動産の保有・賃貸・管理とのことでした。法人の基金については、募集の時点で、成田市として最大2億円の拠出を検討したいとのことでした。

国際医療福祉大学成田看護学部・成田保健医療学部の今年度の入学生は369人で、県外からも多くの学生が入学し、受験倍率も、他の私立大学と比べ高倍率であったとのことでした。市内業者の活用については、大学は物品販売、サービスなどの業種をはじめとして、市内87の業者と取引をしており、効果は徐々に表れてきたと考えているとのことでした。



## 空港対策 特別委員会



### ●成田空港の更なる機能強化の状況

3月23日に成田空港圏自治体連絡協議会の勉強会が開催され、成田市、芝山町、多古町、横芝光町の4市町から、騒音地域住民団体の代表者を招いて意見を伺い、地元の意向を再確認したとのことでした。

3月29日には成田空港に関する四者協議会が開催され、成田国際空港株式会社からは、成田空港の更なる機能強化に係る調査報告について、千葉県からは、成田空港の更なる機能強化に係る課題等についてそれぞれ報告があり、その後、小泉市長からは、成田空港圏自治体連絡協議会の取りまとめ内容についての発言として、国、成田国際空港株式会社に対して深夜・早朝を含めた騒音コンターや今後の具体的な環境対策の方向性をできる限り早急に提示するよう要望を行ったとのことでした。そして、この四者協議会では、国、成田空港周辺9市町、成田国際空港株式会社および千葉県が、地元騒音関係団体の意見への対応および今後の進め方について確認を行ったとのことでした。

また、平成28年3月の空港対策特別委員会以降の成田空港騒音対策地域連絡協議会の各地区部会の説明会については、下総・大栄・豊住・中郷・遠山・久住地区でそれぞれ開催し、主な質問や意見、要望として、騒音コンターの提示時期、抜本的な騒音対策や落下物対策、および地域振興策としての千葉県花木センターの有効活用などが出されたとのことでした。

### ●成田空港の機能強化と環境アセスメント<sup>注5</sup>との関係について

成田空港の機能強化については、滑走路の増設や延長など、いずれも、環境影響評価法の対象事業となるとのことでした。

環境影響評価法については、事業の早期段階における環境配慮を図るため、計画の立案段階での計画段階環境配慮書の作成が義務付けられており、法令の規定に基づき、配慮書を作成して公表するとのことでした。そして、広く一般の方から環境保全の見地からの意見をもらい、その後の事業計画や環境の保全対策に生かしていきたいとのことでした。

注5 開発事業の内容を決める際に、環境にどのような影響を及ぼすかについて、あらかじめ事業者自らが調査、予測、評価を行い、その結果を公表して一般の方々、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて環境保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていく制度。

### ●その他

委員から騒音地域の落下物対策等についての発言を受け、今後は、空港のメリットもデメリットも全市民で受けとめるという方針のもと、移転に関する抜本的な対策を検討していくこと、および、当事者である騒音下住民の代表組織、国、千葉県や既存の空港関連組織と意見交換を行い、必要に応じて空港圏の各議会とも連携して、より具体的な結果が出せるように検討を進めていくことを確認した。

# 早議 はやくわ かり



### 「採決」とは

議長が本会議で表決（議員が議案などに対して賛成又は反対の意思を表示すること）をとる行為のことをいいます。委員会の場合は委員長が表決をとる行為のことをいいます。なお、採決に至らなかった案件は、継続審議の議決をしない限り、審議未了、廃案となります。

### 「採択・不採択」とは

請願に対して、議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のことをいいます。請願の内容が妥当であり、法令上、行政上も実現性があるような場合に、議会として採択するという意思決定を行います。

# 議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ					豪政会			成田自民の会			公明党		リベラル		新風成田		共産党		虹							
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	福島浩一	佐久間一彦	神崎利一	平良清忠	一山貴志	水上幸彦	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘
◆議案																													
1	監査委員の選任（三浦 弘）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	人権擁護委員の推薦（石井 富美江）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市地区運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	専決処分承認（成田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定＝専決第15号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	専決処分承認（成田市都市計画税条例の一部改正＝専決第16号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	専決処分承認（成田市国民健康保険税条例の一部改正＝専決第17号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	成田市立新山小学校北棟大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	成田市立吾妻中学校西棟大規模改造工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	旧豊住中学校校舎棟改修工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	市有財産の取得（高規格救急自動車）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	市有財産の取得（高度救命処置用資機材）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	市有財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車（I-B型））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	市有財産の取得（（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場整備事業用地）の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	公の施設の利用に関する協議（成田市公共下水道）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	市道路線の廃止（松崎浅間地内線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成28年度成田市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	調整池築造工事（並木町大久保台市道流末排水）請負契約の締結	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	市有財産の取得（国際医療福祉大学医学部の校舎、附属施設及びこれに関連する必要な施設の用地）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	市有財産の無償貸付け（学校法人国際医療福祉大学）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆発議案																													
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆請願																													
3	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	「国における平成29（2017）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	TPP協定を国会で批准しないよう求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※ ○＝賛成、×＝反対 ※ 議長（伊藤 竹夫）は採決に加わりません。  
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり リベラル＝リベラル成田、共産党＝日本共産党、虹＝虹と緑

# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 原発ゼロの再生エネルギー先進国へ



鵜澤 治 議員



**問** 東日本大震災・福島第一原発事故から5年3カ月が経過したが、被災地の復興は進まず、ふるさとに帰れない多くの人々の苦しみを解決する見通しは立たない。安倍政権は原発を重要なベースロード電源と位置付けているが、どんな世論調査でも、原発再稼働反対は5割、6割と揺るがない多数派である。原子力や化石燃料ではなく、原発ゼロの日本、再生エネルギー先進国へと大きく踏み出す政策転換を国に求めていただきたいと思うが、見解を伺う。

**答** 第4次エネルギー基本計画では、原子力発電を厳しい安全基

注6 地球の自然環境のなかで繰り返し生じし、再利用可能か、または無尽蔵な供給が可能なエネルギー。

準を前提に、重要なベースロード電源と位置付け、石炭も環境負荷を低減し活用するとしている。また、再生可能エネルギー注6は、有望で重要な国産エネルギー源として、3年間は導入を最大限加速し、その後も積極的に推進するとしている。エネルギー政策は国が適切に進めるので、成田市では、現在行っている住宅用省エネルギー設備設置費補助事業を主とした施策を展開し、積極的に再生可能エネルギーの普及に努めていく。

### その他の質問

- ◆ TPPの批准をやめ政策転換を
- ◆ 成田空港の軍事的利用は許さず

## 2. 学校給食の質の向上

会津素子 議員



**問** 学校給食で使用されるお米の炊飯委託料は幾らなのか。また、朝何時ぐらいに炊飯し、配送にはどのくらいの時間がかかるのか。さらに、到着時間に差がある場合の対応について伺う。

**答** 炊飯委託は、玉造の給食センターと大栄分所で行っている。平成27年度の炊飯委託料の実績では、玉造が約3,400万円、大栄が約400万円である。また、御飯は酒々井にある炊飯業者が朝5時ごろから炊き始め、6時に炊き上がり、配送トラック2台で1クラスずつ保温容器に入れて運んで、早い学校では7

時15分ごろ、遅い学校では11時ごろ到着する。早い時間に御飯が到着することについては、親子方式の共同調理場をつくる中で対応していきたい。

### その他の質問

- ◆ 添加物のない調味料の使用
- ◆ 冷凍食品や輸入食品の使用
- ◆ 予防医学の視点からの学校給食

## 3. 飛行コース直下住民対策



海保貞夫 議員



**問** 飛行コース直下住民は、365日、朝から晩まで不定期的に止まることがない航空機騒音下に暮らしており、航空機事故や落下物による危険にさらされている。しかし、今後も成田空港の果たす役割は重要になり、増便や利用者中心の使い勝手のよい空港建設が叫ばれる中、現在でもラッシュ時には飛行間隔2分間前後で離着陸が繰り返されている。そこで飛行コース直下の住民対策は移転を基本にと思うが考えは。また飛行コース直下に住み続けなければならぬ人には民家防音工事の遮音強化を図るための施策を早期に提示すべきと思うが成田市の考えを伺う。

**答** 飛行コース直下住民の要望や実情を踏まえて課題や問題点などを整理し、千葉県をはじめ空港周辺市町との連携を図りながらあらゆる機会を捉えて、航空会社、国、成田国際空港株式会社に対し、落下物からの危険を回避するための抜本的な対策が速やかに講じられるよう引き続き粘り強く働きかけていく。また、民家防音工事の遮音強化を図るための施策の提示についても、四者協議会の場などで、千葉県や空港周辺市町との連携を密にし、防音工事の施工内容の拡充が早期に図られるよう、国、成田国際空港株式会社に対し、引き続き粘り強く働きかけていく。



## 4. 完成したJR成田駅前広場のより良い活用方法

石渡孝春 議員



▲完成したJR成田駅前広場

**問** 》 JR成田駅前広場が完成し、平成28年4月より供用が開始された。しかし、市民から一般車両の入り口が狭過ぎるとの声がよく聞かれるため、もっと広くすべきではなかったか。また、一般車利用のロータリー中央部分がぐいに囲まれたままいつも空いているが、その活用方法を伺う。そして、駅前広場が完成したこの機会に、駅の出入口の呼称の統一を願うが、成田市の考えは。

**答** 》 一般車用ロータリー入り口の幅員は千葉県公安委員会と協議した結果、安全に横断できるよう最短距離とし、横断歩道を含む道路幅

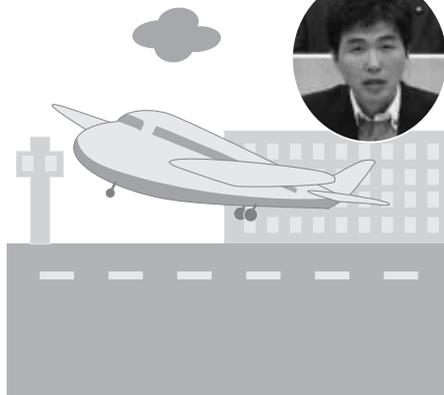
員は対面する道路幅員と同じにするとの指導で以前の半分の約12メートルとなっている。一般車用ロータリー中央スペースは、送迎車両の待機場所を検討したが乗降者の横断が懸念され事故防止の観点から断念した経過がある。イベントなど一時的に人が集まる際には交通誘導員など安全管理を行えば利用は可能と考える。JR成田駅東口と京成成田駅西口の出入口は、親しみやすく成田らしい統一の愛称をつけることとし、今後広く募集したいと考えている。

### その他の質問

◆小中学校の運動会・体育祭

## 5. 成田空港の機能強化に向けた取り組み

雨宮真吾 議員



**問** 》 2月に日米の航空交渉により羽田空港の昼間時間帯に米国路線を設定する合意がなされた。予定される年間3万9,000回の増枠分も今回のような交渉が行われれば、重複路線の減便や運休が加速し、成田空港の国際線ネットワークに大きく影響を与えるのではと危惧する。成田空港の機能強化に向けた取り組みをよりスピード感を持って推進することが必要であり、そのためには騒音地域住民の理解が不可欠であると考え、解決すべき課題について、成田市としてどのように取り組んでいくのか、四者協議会の進捗とともに伺う。

**答** 》 四者協議会では、約束・要望事項のうち残されたものへ真摯な対応をすることなどが確認されている。成田空港の機能強化に当たっては、騒音地域住民と行政や成田国際空港株式会社が信頼関係を築き、双方向で意見を交わし抜本的な移転対策や防音工事の充実などの環境対策、地域共生策について合意形成を図ることが重要なので、騒音地域住民の意見が環境対策、地域共生策に適切に反映されるよう四者協議会等において引き続き協議していく。

### その他の質問

◆国際医療学園都市構想

## 6. 災害対策

村嶋照等 議員



**問** 》 熊本地震での災害廃棄物の総量は130万トンとも言われており、これは熊本県での年間発生一般ごみの約2倍で、中越地震や広島土砂災害の2倍とのことである。そして熊本地震直後は生活ごみに関して、関係自治体の焼却施設のうち、およそ3分の1が地震の影響で使用不能となり、道路事情の影響も相まって収集が滞っていた。今、日本全国各地でも地震が起きる可能性が指摘されている。そこで、地震で成田市のまだ新しい焼却施設が使用不能になることはないのか。また、市民生活に直結するごみ収集車の燃料確保について伺う。

**答** 》 成田富里いずみ清掃工場は、建築基準法で定める基準の1.25倍の強度を持ち、震度6強以上の地震に対しても構造体の大きな補修をせず人命の安全確保に加えて施設機能に支障を来さない構造となっている。また、現在ごみ収集車の燃料備蓄を行っている市内委託業者はないが、東日本大震災の教訓を踏まえ、平常時でも1日の業務終了後に燃料を補給することや燃料店の得意先を確保し災害時の優先的な供給の取り決めをするなど対策を講じている。

### その他の質問

◆水の事故防止対策



## 7. 成田山新勝寺までの表参道の整備

鳥海直樹 議員



▲にぎわう成田山新勝寺

**問** 成田山への観光客の誘導のために多言語表示の周辺マップを配備しているようだが、看板は小さく視認性は低いと感じている。表参道へとさらに観光客を引き込む手法として、石畳舗装という景観舗装による誘導が一つの手法ではないか。成田参道へいざなう効果だけでなく、日本遺産<sup>注7</sup>の象徴とし、さらには2020年の東京オリンピック開催に向けて、市域全体を見据えた整備をすることが望ましいと思うが、今後どのような検討をしているのかを伺う。

**答** 案内看板については、今後もより視認性の高い絵文字標識の

設置を検討していく。また、石畳舗装は、舗装の更新に当たっての選択肢の1つだが、景観に配慮した舗装は他にもあり、交通量や地形、耐久性、経済性に加え、環境に配慮することなども必要と考える。表参道は、日本遺産を構成する主要な施設なので、地元まちづくり協議会をはじめ、関係団体と協議し、景観に配慮して計画的な対応をしていく。

### その他の質問

- ◆ 工事の発注時期及び施工時期の平準化
- ◆ 成田市建設業災害対策協力会
- ◆ ふるさと納税の取り組み

注7 地域の歴史的な魅力や特色を通して我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもの。

## 8. 成田国際空港周辺地域の活性化

青野勝行 議員



**問** 空港周辺地域は市街化調整区域に指定されており、市街化調整区域における土地利用方針および市街化調整区域における地区計画運用基準でゾーンにしてあっても、企業が不動産を取得し、活用することが難しいのが現状である。そこで、企業の投資を促しやすい環境整備の一つとして、市街化調整区域において、さらなる規制緩和を進めるべきである。ゾーンの指定外でも特例を認める、または特区に関連のある企業の場合は特例を認めるなどの緩和策を打ち出してほしいが、成田市の考えは。

**答** 成田市では、地区計画運用基準に則した地区計画制度の活用により、民間事業者の自発的な参入を期待しているが、有効な土地利用が進んでいないのも事実である。そのため、当該制度を活用してもらえよう、さらなる周知に努めるとともに、事業者から地区計画による開発行為の提案があった際には、その提案に対する都市計画手続きについて支援をしていく。

### その他の質問

- ◆ 地域福祉における障がい者福祉

## 9. 日本版DMO

大倉富重雄 議員



▲日本遺産認定セレモニー

**問** 日本版DMOとは、観光地域づくりのかじ取り役として多様な関係者と協働し、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人で、国は、これを観光振興の政策メニューの1つとして進めている。現在、せとうちDMOなどさまざまな形態があり、広域連携DMO4件、地域連携DMO39件、地域DMO38件、計81件の日本版DMOが承認されている。県下唯一の日本遺産の認定を受けた成田市にとって、DMO実現の絶好のチャンスだと考えるが、見解を伺う。

**答** 日本版DMOについては、対象エリアは単独市町村の区域のみの場合や複数の自治体にまたがる区域の場合などさまざまであり、関係者や関係業種も多種多様であることから、相当の調整が必要になると想定される。今後、他市の事例を研究しながら、成田市での実現の可能性について検討していきたい。

### その他の質問

- ◆ 立地適正化計画の策定
- ◆ 民生委員協力員制度の導入
- ◆ 多胎妊婦の健診助成の拡充



## 10. 医学部・付属病院は、市民にとってプラスかマイナスか



海保茂喜 議員

**問** 日本医師会をはじめ、医療関係者の反対があるから国際医療と言い、補助金として市民の血税を使うので市民には地域医療と言うのは、解釈に矛盾があると思う。国際的な医療人材を育成するとする国の方針と、成田市の地域医療にも貢献するという理解は矛盾しないのか。また、主目的を国際医療と地域医療のどちらに置くか考えるのかを伺う。

**答** 国際的な医学部が地域医療にも貢献するものと考えており、新設する医学部で育成される医療人材は、基本的には日本の医師免許を取得することから、まずは国内の地

域医療の場で活躍する人材であると認識している。国際的な医療人材の育成と地域医療の充実は両立し得るものであり、どちらか一方に限定されるものではないと考えている。

### その他の質問

- ◆空港周辺対策交付金等の安定的な財源確保・拡充は
- ◆騒音対策・落下物対策・地域振興策・集落分断の解消への対応
- ◆自治体施設と指定管理者制度

## 11. 平成27年12月以降のいじめ対策の新たな取り組みは



鬼澤雅弘 議員

▲付属病院建設予定地の遠山・畑ヶ田地区

**問** いじめの問題については、平成27年12月議会の私の一般質問で取りあげた。当時は、各学校からいじめについてのアンケート結果を、学期末ごとに教育委員会へ報告することになっていたが、これでは例えば4月に起きたいじめを教育委員会で把握するのが早くても7月になってしまい、取り返しがつかなくなるケースがあるのではと強く思っていた。12月議会から半年がたち、その後どのように成田市がいじめ対策に取り組んでいるのかを伺う。

**答** 教育委員会では、いじめの総数と解消数を各学校から毎学期

報告を求めていたが、よりきめ細かな引き継ぎをするため、平成27年度から報告様式を変更し、各校が把握したいじめ1件1件について具体的な内容も含めて記録することとした。さらに、平成28年度からは各校のいじめの状況を、学期に1回から毎月1回報告を求めるとした。

### その他の質問

- ◆給食費の16%大幅値上げ後の給食は、どのように改善されたか
- ◆付属病院予定地周辺や市道西三里塚大清水線の整備状況は
- ◆大地震等に対する市の災害状況と各避難所の備蓄品管理体制は

## 12. 付属病院周辺の土地利用についての考え方



神崎利一 議員

▲医学部付属病院イメージ図

**問** 医学部付属病院の建設は、市議会での土地購入の承認が進む中、造成、貸与を経て、平成32年4月の開設を見込むとのことだが、付属病院周辺の土地利用の考え方および地元への説明について伺う

**答** 付属病院建設予定地の畑ヶ田地区および周辺地域は市街化調整区域であり、農地や森林などの自然と共存した土地利用が中心である。成田市では、成田国際空港周辺土地利用ビジョンで定める土地利用の実現のため、市街化調整区域の原則を維持しながらも産業振興に資する適正な土地活用の誘導を図ることとし

ている。次期都市計画マスタープラン<sup>注8</sup>では、付属病院建設予定地を医療集積拠点と位置付け、空港を活用した新たな産業機能の形成や付属病院建設に合わせた新たな交通ネットワークを形成する方針を定めている。周辺住民対象の説明会は現在までに2回実施しているが、土地利用計画が具体的に変わった際に改めて説明の場を設けたいと考えている。

### その他の質問

- ◆現在進行中の西三里塚大清水線
- ◆東日本大震災や熊本地震からの教訓は

<sup>注8</sup>平成4年の都市計画法改正により規定された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」（法第18条の2）のこと。



### 13. 障がいをもつ方、65歳で負担の増加も



荒川さくら 議員



**問** 2013年度から施行された障害者総合支援法は、司法の場で国が約束した基本合意やその後の骨格提言で廃止するとした、65歳になると介護保険に移行される介護保険優先原則を変えていない。介護保険に移行すると、無料だった低所得者の利用料が1割負担となり、生活保護受給者などであっても、上限1万5,000円の自己負担が発生する。また、障害福祉サービスと介護保険サービスでは内容が違い、一律には移行できないと思うが、介護保険への移行をするかを決める際に、本人の意向は反映されるのか。

**答** 障害福祉サービス利用者が65歳に到達する際には、市の担当者が利用者や家族などの意向を確認するとともに、移行により日常生活に支障が生じないように配慮している。利用者が望む生活を実現するために必要とされるサービスが介護保険にないか、サービス量が不足すると判断した場合は、障害福祉サービスの継続利用を決定することとしている。

#### その他の質問

- ◆ ども発達支援センターの利用状況と増設について
- ◆ 給食費値上げ後の給食の変化は
- ◆ 市営住宅の建て替え計画は

### 14. メガスポーツイベントに向けて

飯島照明 議員



▲中台運動公園陸上競技場

**問** メガスポーツイベントが立て続けに日本で開催されるに当たり成田市でキャンプを誘致することは、トップアスリートを目の前で見る絶好の機会となり、また、キャンプ地となれば子どもたちに夢を与えアスリートに希望をもたらす素晴らしい機会となる。そして、メガスポーツイベントのキャンプ誘致や成田市が推進するスポーツツーリズム<sup>注9</sup>の取り組みを考慮すると、市の担当課だけではなくスポーツコミッション<sup>注10</sup>の設立が必要であると考えているが、成田市の考えを伺う。

は、国内外に向けて成田市をPRする絶好のチャンスであり、地域の活性化も期待されるため積極的に進めている。平成28年度は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催以降も継続的にスポーツツーリズムを推進していくために必要となる取り組みや実現するための手段などについて整理し、総合的な戦略を構築していく。その中で、市民や関係団体と協働して取り組むための組織の設立の可能性も検討していく。

#### その他の質問

- ◆ 観光関連施策
- ◆ 卸売市場の再整備

**答** 事前キャンプの受け入れ

注9 プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組み。 注10 スポーツを重要産業と捉え、スポーツに特化して都市マーケティングを担う専門組織。スポーツイベントの招聘や企画を通じて地域経済の活性化を図るための取り組みを行う。

### 15. 若者の政策形成過程への参画



一山貴志 議員



**問** 18歳選挙権が実現するこの夏の参議院選挙を前に、若者の政治的関心を高める動きに注目が集まっている。少子高齢化が急速に進む日本で若者の政治離れが進行すれば、若者の政治的影響力は低下し、社会の沈滞化につながる。若者の政策形成過程への参画を促進するなど、若者が社会における影響力を実感できるような取り組みを積極的に進めることが重要であると考えている。若者会議等の開催を含め、若者の声をさらに市政に反映する仕組みが必要と考えるが、見解を伺う。

育て世代を対象としたワークショップ<sup>注11</sup>を開催するなど、若い人たちの意見を聞く機会を増やすとともに、市民参画に対する意識の醸成を図ってきたところである。まちづくりを進めていく上では、次代の担い手である若者が市政に興味を持ち、積極的に参画することが重要であると考えているので、今後も若い世代を対象としたワークショップなどの開催により、若者の声を市政に反映していく。

#### その他の質問

- ◆ 教育について
- ◆ 食品ロス削減に向けて

**答** 20代から30代の若者や子

注11 学びや創造、問題解決やトレーニングの手法としての体験型講座。

## 16. 介護職員の待遇改善策を



星野慎太郎 議員



**問** 各介護事業所は、さまざまな処遇改善加算<sup>注12</sup>を得て、職員の賃金に反映させるものだが、処遇改善加算を算定していない事業所に対して、加算を取るよう指導を行っているのか。また、処遇改善加算を算定している事業所において、実際に従業員の賃金に加算がされているか否か、確認をとっているのか伺う。

**答** 処遇改善加算を算定するよう指導することは事業所の体制整備も必要であり難しいが、介護職員の安定的な処遇改善を図るための環境を整備するとともに、介護職員

の賃金等の改善に充てることを目的に創設された制度なので、事業所に対して、取り組みをお願いしていきたいと考えている。また、処遇改善加算が実際に介護職員の賃金等に反映されているかは、事業所に対する個別の実施指導において監査している。

### その他の質問

- ◆増加する一人暮らしの高齢者へきめ細やかな対応を
- ◆10月から実施される介護の新しい総合事業とは

注12 介護の離職率が高い理由として仕事のわりには賃金が低いなどがあるため、介護の現場に携わる職員に対して給与面で報いるために創設された加算金。

## 17. 成田市民歌

油田 清 議員



▲成田市民歌石碑

**問** 成田市民歌は、市の行事で唱和される市民憲章と異なり、市民が目や耳にする機会はほとんどないと思うが、成田市は、成田市民歌をどのように位置付けているのか。また、若い市民や市役所職員が成田市民歌を知らない困ることはないが、それでいいのか。成田市民歌の現状の扱いと、今後の普及についての考えを伺う。

**答** 成田市民歌は昭和50年に市制施行20周年記念で発表され、後の市役所本庁舎落成記念で石碑が設置され、成田市の歴史を語る上でも、貴重な財産である。記念式典で

斉唱をしたり、市役所で始業時刻に放送した時期もあったが、残念ながら市民が市民歌に触れる機会は減っている。現状として、図書館及び行政資料室において市民歌のCDの貸し出しや、行政資料室で販売もしている。また、イベント時に市民サークルや団体などにより歌われているほか、市職員の新規採用職員研修の開講式では、斉唱を行っている。今後は、市の節目の行事での活用や市民に親しまれる方策を検討していく。

### その他の質問

- ◆敬老祝い金のあり方
- ◆産前産後ヘルパー派遣制度

## 18. 地域営農ビジョン

福島浩一 議員



▲伊能歌舞伎米マスコットキャラクターのこめ丸

**問** ブランド米推進の取り組みについて、産地の形成には住民みずからが地域の農業、生産物を愛し、一体感を持っていなければならない。自分が好きにならなければ他人にアピールすることはできないと思う。こうした中で、地域産地としての成田市におけるブランド米の実態と営農指導の実態、また今後の方針をどのように考えているか伺う。

**答** 成田市のブランド米としては伊能歌舞伎米があり、伊能歌舞伎米研究会が商品化し、播種から始まり印旛農業事務所やJ Aかたりの営農指導のもと現地検討会等を行い、

食味計による検査など出荷するまで管理を徹底している。また市主催のイベントをはじめ、さまざまな場所で消費宣伝活動も行っている。そうした活動が実り、平成27年度より千葉三越店内において期間限定で販売され、平成28年度は通年販売に向け商談中である。また6次産業化<sup>注13</sup>にも取り組み、伊能歌舞伎米の米粉を使用したシフォンケーキや煎餅を作り、直売所やイベントで販売して大変好評を得ている。成田市としても、伊能歌舞伎米をはじめとした農産物のブランド化に向け関係機関と協力するとともに、引き続き生産技術の向上や販売促進活動を支援していく。

注13 農業や水産業などの第1次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営の多角化のこと。

## 19. 観光政策

水上幸彦 議員



▲さくらの山の物品

**問** 観光政策について、日本遺産認定による近隣市との連携と2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光施策、および成田国際空港を抱える成田市として空港立地ならではの関係者との連携についての考えを伺う。

**答** 日本遺産に認定された北総四都市江戸紀行<sup>注14</sup>の魅力を発信すべく千葉県を中心に関係市との地域連携を強化し、文化庁と協議を進めている。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて国際医療福祉大学などの留学生による魅力発信や外国人旅行者を対象と

した観光実態調査を実施し、平成28年度中には多言語による災害・観光情報配信システムの構築を予定している。また、成田市の観光拠点の1つである空の駅さくら館で国際線やLCC就航地のお土産コーナーを設けているが、今後も引き続きLCC等の就航地との連携を深め、さらなる観光誘致と交流に努めていく。

### その他の質問

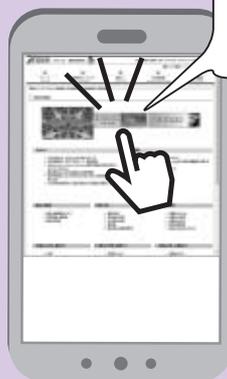
- ◆想定外の大規模災害や連続地震への備え
- ◆公職選挙法改正に伴う取り組み
- ◆待機児童解消の取り組み

注14 江戸を感じる北総の町並みとして文化庁から日本遺産に認定された佐倉、成田、佐原、銚子の建造物や町並み、文化。

## 議会中継がスマートフォンやタブレットで見られます

平成28年6月定例会から、議会中継がパソコン版に加えて、スマートフォンやタブレット端末でも視聴可能となりました。本会議・委員会のライブ中継をはじめ、録画中継(本会議のみ)も視聴できます。なお、平成28年3月定例会以前の録画中継については、パソコンからのみ視聴が可能です。ぜひご覧ください。

### 1 議会HPトップ



議会中継を  
クリック!

### 2 インターネット 議会中継



### 3 成田市議会 議会中継



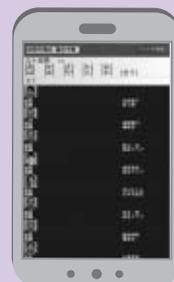
### ・会議名から選ぶ

録画中継は24時間いつでも視聴できます。会議開催後、概ね5日後(土日祝を除く。)から公開しています。



### ・ライブ中継

本会議・委員会の会議開始から終了までの様子を放映しています。



### ・議員名から選ぶ

議員名から映像を検索することができます。



## ◆ 平成27年度政務活動費の各会派別収支報告 ◆

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、地方自治法に基づいて条例に定めるところにより会派（所属議員が1人の場合でも会派とみなします。）に対して交付されるものです。

成田市では、政務活動費の年額について、議会における会派の所属議員数に72万円を乗じた額を交付しています。

各会派は、毎年度末に領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残額がある場合は、市に返還しています。また、収支報告一覧は、市議会ホームページで公表しています。

### 4月分

会派名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
政友クラブ	11	660,000	1,240,981	0
豪政会	4	240,000	299,097	0
リベラル成田	4	240,000	516,557	0
公明党	3	180,000	105,497	74,503
清政会	3	180,000	190,498	0
日本共産党	2	120,000	139,376	0
無所属市民の会	1	60,000	111,413	0
エコビースの会	1	60,000	5,065	54,935
無以の会	1	60,000	60,921	0

### 5月以降分

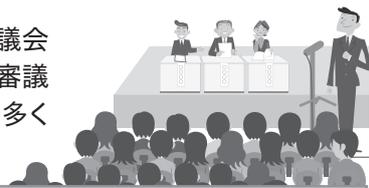
会派名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残額(円)
政友クラブ	10	6,600,000	7,088,441	0
豪政会	4	2,640,000	3,237,873	0
成田自民の会	4	2,640,000	3,500,556	0
公明党	3	1,980,000	1,250,003	729,997
リベラル成田	3	1,980,000	2,576,537	0
新風成田	3	1,980,000	2,343,156	0
日本共産党	2	1,320,000	1,310,018	9,982
虹と緑	1	660,000	688,458	0

会派名	支出額(円)	支出内訳(円)							
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
政友クラブ	7,088,441	3,635,474	0	1,938,999	0	639,267	842,301	32,400	0
豪政会	3,237,873	1,064,509	7,910	1,600,000	0	402,292	163,162	0	0
成田自民の会	3,500,556	1,324,554	88,807	1,011,218	0	608,071	302,906	0	165,000
公明党	1,250,003	298,682	60,288	704,195	0	44,756	142,082	0	0
リベラル成田	2,576,537	858,400	11,000	1,584,476	0	13,163	109,498	0	0
新風成田	2,343,156	728,756	22,000	1,270,495	40,000	290	169,729	0	111,886
日本共産党	1,310,018	242,359	0	558,808	7,620	13,908	82,425	0	404,898
虹と緑	688,458	19,000	49,614	580,554	0	0	39,290	0	0

※ 年度途中で改選があったため、4月分と5月以降分で分けて算出した交付額となっています。  
 ※ 項目のうち「要請及び陳情活動費」、「会議費」は、全会派で支出が無かったため表に含めていません。  
 ※ 交付額と支出額について、支出超過分は会派が負担しています。

## 議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた議会の実現のため、議会報告会を下記のとおり開催いたします。この報告会では、定例会における審議の内容や過程の説明ほか、参加者との意見交換などを予定しております。多くの皆さまのご来場をお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。



開催日	時間	会場
平成28年 11月5日(土)	午前10時～12時	もりんぴあこうづ 会議室
	午後2時～4時	三里塚コミュニティセンター 多目的ホール
平成28年 11月6日(日)	午前10時～12時	久住公民館 第2会議室
	午後2時～4時	下総公民館 多目的ホール

※参加を希望される方は当日直接会場へお越しください。 ※詳しくはホームページをご覧ください。

## 全国市議会議長会より表彰

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、全国市議会議長会より次の3氏が表彰されました。



青野勝行 議員  
《議員在職25年》



鷲澤 治 議員  
《議員在職25年》



秋山 忍 議員  
《議員在職15年》

## 議員研修会を開催



成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

6月1日には、「議会改革のもう一步:「住民自治の根幹」としての議会を作動させる 議会改革の本史の第二段階へ」をテーマに、山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長江藤俊昭氏えとうとしあきを迎えて開催しました。

## コーヒータイム



選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が施行され、国政選挙では7月10日投開票の参院選から適用されました。この改正で新たに有権者に加わる18、19歳の未成年者は約240万人。若い世代の参入が政治の活性化、投票率の向上につながるかどうか注目されています。若者が投票を棄権する理由として「政治は分かりにくい」「誰がやっても同じ」「議会が見えない」という声が非常に多く、広報広聴委員会としては「議会報告会」の開催、スマートフォンやタブレット端末での映像配信等、さまざまなツールを活用し、議会の活動や情報を広く知っていただけるよう努めてまいります。

広報広聴委員 一山 貴志

## 9月定例会は、9月2日(金)開会予定です。

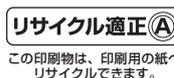
「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760  
TEL 0476(20)1570(直通)  
FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



環境に優しい大豆インクを使用しています。